

「医療従事者のための爆発物災害対策医療講習会」(案) ー止血帯(タニケット)による実習を含むー

(救命・救急医、産業医等医療従事者等が知っておくべきこと)

(1級認定コース・日医生涯教育制度単位認定) (申請中)

後援：公益社団法人 日本医師会

開講のご案内

皆様、ご承知の様に、現在、世界の彼方此方で、年間1万～1万5千件のテロが発生しております。これらのテロの殆どは、爆弾テロを主体とするテロで、発生回数、手段、標的において従来と全く変わった脅威が生じている。これらの動向は、本年(2020年；令和2年)の東京オリンピック開催を目前に控える我が国の大きな懸念事項となっており、爆発物災害対策、とりわけ、爆発物医療対策の重要性が改めて認識されております。

日本で若しテロが起こるとすれば、爆発物事案の生起の可能性が大であると観られており、イベント等の多い全国の医療災害対策担当者等から医療従事者のための爆発物対策医療講習会の実施の要請が高まっております。このため、弊機構では、別紙の通り「医療従事者のための爆発物災害医療対策講習会」(救命・救急医、産業医等医療従事者が知っておくべきこと)を開講することといたしました。

今回の講習会は、現在日本の爆発物対処の第1人者として活躍中の先生方を講師に迎え、爆発物災害医療対処に真に役立つ第1級の危機管理コース(爆発物テロ対策医療責任者1級認定)といたしました。特に、今回も、止血帯(タニケット)を使用した止血実習等も行い医療従事者の技術向上に役立てたいと念じております。なお、今回の講習会でも、日本医師会・東京都医師会の認可を得て、日本医師会生涯教育制度の認定をしていただき、単位の認定を行います。ご多忙中の折柄誠に恐縮に存じますが、奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

令和2年1月吉日

NPO 法人 NBCR 対策推進機構
会 長 片山 虎之助
理事長 井上 忠雄

「医療従事者のための爆発物災害対策医療講習会」について (案)
 —止血帯 (タニケツト) による実習を含む—
 —主として救命・救急医、産業医等医療従事者が知っておくべきこと—
 1級認定コース・日医生涯教育制度 5.5 単位認定 (申請中)
 主催 NPO法人 NBCR対策推進機構
 後援 公益社団法人 日本医師会

■ 趣 旨

本年 7～8 月 (令和 2 年) の東京オリンピック・パラリンピックの開催が迫って参りました。最近のスリランカの爆弾テロやボストンマラソン爆破事件・過去のオリンピック時に生じたテロ事件或いは最近、世界各地で頻発するテロ事件では殆どが高性能爆薬を使用した爆弾テロや化学物質等を混入した高性能爆薬が使用されております。東京オリンピックや全国で行われる各種イベントを成功させるためには官民挙げて爆発物等によるテロに各種の対策を講じて安全・安心を確保する必要があります。日本では、三菱重工業爆破事件等で経験したように、爆発物によるテロ等に特に注意が必要です。これらの対策では、裂傷を始めとする多くの被害者は現場での救急措置は勿論のこと、中でも特に医学的対応が重視されます。このためには、平素から爆発物テロや関連情報を収集・評価し、物的・人的措置を講じ、教育・訓練を行い、標的化を防止して適切な対応力を養成しておくことが重要です。最新の世界の情報・経験を踏まえて爆発物テロやCBRNテロを含む爆発物災害対策等を見直し各種の厳しい現実を想定した訓練・講習を実施する必要があります。

今回も、現在日本の第 1 人者としてご活躍中の先生方を講師に迎え、止血帯の実習等も加え、「医療従事者のための爆発物災害対策医療講習会」を下記の通り開催いたします。欧米では止血帯を使用した爆発物テロ対策が行われております。

■ 講習対象者

救命・救急医師、産業医、病院等医療危機管理担当者、保健所職員、消防職員、その他講習研修を更新の希望者

■ 認定カード発行

講習修了時認定試験を行い「爆発物テロ対策医療責任者認定カード(1級)」を発行し当機構での認証を行います。また、日本医師会生涯教育制度 5.5 単位の認定を行います。

■ 講習開催日

日 時	受付締切	定員
令和 2 年 4 月 19 日 (日) 09:00～17:00	4 月 3 日 (金)	100 名

■ 細 部

- ・ 爆発物災害対策担当者養成講習会カリキュラム 付紙
- ・ 場 所：ヒューリック浅草橋ビル 3 F ヒューリックカンファレンス ルーム 1
〒111-0053 東京都台東区浅草橋 1-22-16 (TEL: 03-5822-5971) (JR 浅草橋西口徒歩約 2 分)
- ・ 申 込：「申込書」により FAX でお申込み下さい。 別紙
- ・ 締 切：先着定員になり次第申込を締め切ります。
申込を締め切った際は、弊機構ホームページに掲載します。
URL: <http://www.nbcr-taisaku.com>
- ・ 順 延：最小催し人員数 20 名以下の場合は延期し順延の通知を致します。
- ・ 費 用：2 万円 (NBCR 対策推進機構 個人正会員：1.5 万円、 団体会員：1 万円)
- ・ 連絡先：NBCR 対策推進機構：〒111-0053 東京都台東区浅草橋 2-7-9 大森ビル 2 階
 電話：03-5829-6187 FAX：03-5829-6197
 e-mail: info@nbcr-taisaku.com **メールアドレスを変更しました。**
 担当：執行役員 吉田満、若森崇史、阿部剛士

■ カリキュラム (案)

日	時 間	科 目	講 師
4 月 19 日 (日)	09:00～09:10	オリエンテーション 弊機構理事長	工学博士 井上忠雄
	09:10～10:00	1 災害と医療対策—爆発物対策の重要性	(公社) 日本医師常任理事 石川 広巳 先生
	10:00～11:00	2 爆発物テロの動向と日本生起の可能性	(公財) 総合安全工学研究所 事業部長 元科学警察研究所部長) 中村 順 先生
	11:00～12:00	3 爆発物に対応する新たな医療措置 —爆発物による生体損傷のメカニズム—	東京医科大学 准教授 八王子医療センター 救命救急センター長 新井 隆男 先生
	12:00～12:50	休 憩 (昼 食)	
	12:50～13:50	4 爆発物災害と医療対策 —止血帯を使用した実習を含む—	杏林大学医学部主任教授 山口 芳裕 先生
	13:50～14:50	5 爆発物医療対策—消防と医療の連携	報恩会社長 (元東京消防庁防災部長) 伊藤 克己先生
	14:50～14:55	休 憩	
	14:55～15:50	6、爆発物医療対策—図上演習 (現場で医療従事者は何をすべきか等討論)	同上
	15:50～16:30	7 爆発物医療対策—図上演習 (病院での受け入れ準備・対応・措置等討議)	同上 指導：山口 芳裕 先生
16:30～16:35	休 憩		
16:35～16:55	8 試 験		
16:55～17:00	修了証授与 (爆発物災害対策担当者講習会)		

「医療従事者のための爆発物災害対策医療講習会」申込書

申込締切	令和2年4月3日(金) 先着順100名		
申込FAX	03-5829-6197		
申込者(団体名等)			
(ふりがな) 参加者氏名	氏名	所属	職名
	()		
	()		
	()		
住所	〒 自宅 職場 : いずれかを○でお囲み下さい。		
連絡先	電話番号 :	FAX番号 :	
	e-mail :		
組織区分 該当する箇所を○で お囲み下さい	◆NBCR対策推進機構: 弊機構の個人正会員 ・ 弊機構の団体会員 ◆日本医師会: 所属地区名 () ◆所属 ()		
請求書の宛名 ○でお囲み下さい	本人 ・ 別名 ()		
その他	同一機関から複数名で参加し、取り纏めの担当者がいらっしゃる場合はその方のご氏名をお知らせ下さい。受講票を纏めてお送りします。 ご担当者役職・氏名		
要望事項			